

第52回萩原朔太郎研究会 研究例会を開催します

毎年秋に開催している萩原朔太郎研究会研究例会の第52回を開催。萩原朔太郎についての講演と、研究発表を行います。

- 日時 令和4年12月3日（土）午後1時～午後4時30分
- 会場 前橋文学館 3階ホール
- 対象 一般（会場での参加）、先着50人（会員以外も参加できます）
オンラインでの参加可（詳細は「萩原朔太郎研究会」ブログへ）
- 内容
 - 講演 ^{きたがわ とおる}北川 透さん 「経験という秘密 —「詩と持論(モダニズム詩)」と萩原朔太郎」
（詩人、文芸評論家）
 - 研究発表
 - ^{たけひさまこと}武久真士さん 「1930年前後の詩壇における《形式》—春山・萩原論争を手がかりに」（大阪大学文学研究科 文化表現論専攻 日本文学専門分野）
 - ^{ふくしま りょう}福島 亮さん 「異言のなかのノスタルジア —萩原朔太郎の翻訳論から」
（ソルボンヌ大学大学院フランス文学比較文学専攻博士課程）

※萩原朔太郎研究会・松浦寿輝会長（詩人・作家・文学研究者）の講評もあります
- 申し込み 一般：前橋文学館（萩原朔太郎研究会事務局）へ電話で
オンライン：研究会ブログから受付（別紙チラシのQRコード参照）
- 主催 萩原朔太郎研究会／前橋市

本件に関するお問い合わせ先

前橋文学館（萩原朔太郎研究会事務局）

電話 直通 / 027-235-8011